

コミュニティ くま

私と人とまちの間に

2021.JUL
128号

7

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

自然生活、はじめました。

- 2 週末に畑のある生活 ばたばたふぁーむ
- 4 定年後のきのこ博士 ロクハ公園「きのこウォッチング」
- 6 事業団からのお知らせ
まち語り 一枚の写真
- 7 熊谷栄三郎の徒然草津 第40回 木で鼻くくる
もじうめスッキリ
- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
ボイス

夏本番

梅雨の合間をぬって畑で草刈機のエンジン音が響きます。あとからあとから伸びる雑草に汗が吹き出しますが、こうして手間ひまかけた野菜は格別。収穫の喜びを仲間と分かち合うその日を目指して、若きファーマーたちの週末農園はこれから本番。(P2)

「梅雨の終わりとともにセミの音が夏の到来を告げます。子どもたちの夏の記憶にセミの音が重なる人も少なくないのでは。閑さや岩にしみ入る蝉の声。」「蝉」はもちろん夏の季語ですが、夏の夜の音風景でもある「蛙」「虫」は秋の季語なんだとか。さて、今年はどうな夏の思い出をつくりましょうか。

2021.JUL
128号

7

好きなことや得意なことに没頭するなんとも幸せな時間。もし、その好きなこと、得意なことが他の誰かの役に立つとしたら…。それはきっと、更なるやりがいになります。自分の趣味が見ず知らずだった人を喜ばせ、そしてつながる。そんなHAPPYのつくり方に気づき、動き出した人たちがいます。

それにしても、好きなことの話をしているときって、誰もがサイコーの笑顔ですね。



FEATURE

週末に畑のある生活

週末や休みの日、あなたは何をしてお過ごししていますか？
 キャンプ・DIY・園芸に手芸…。おうち時間も増えて、なにか新しいことを始めた人の話もよく耳にしますね。「畑にチャレンジしたい」って人の中には「知識も場所もないし、仕事で毎日世話できない。お金もかかりそうだし、なにより一人で続けられるか心配」と、そのハードルの高さに尻込みする人も多いのでは。
 そんなあなたに提案です。「週末に畑のある生活」というライフスタイル、どうですか。

3人の週末農家

ここは西矢倉の農場。週末に集まった3人の男たち。この夏（2021年8月）のオープン控える「週末体験農園は

たばたふあーむ」の拙さん、中村さん、竹村さんです。

梅雨の合間だというのに汗が噴き出す暑さの中、草刈り・溝掘り・野菜の植え付け、と地道な作業が続きます。実はこの3人、専業農家でもプロでもありません。普段はサラリーマンとして働きながら、週末になると作業服に袖を通して土を耕す「週末農家」です。

年齢も職業も全く違う彼らの出会いは年間通った農業学校なのだから。

拙さんの場合「野菜の栽培方法はネットや動画でも観ること

はできませんが、情報が多すぎて判断に困るんですよね。これは基本を知ってないといけないな」と思い、学校に行くことにしました。肥料や土壌のことまで学べて良かったです。こうして仲間もできましたしね」

野菜をつくりたい

30〜50代の働き盛りの彼ら。仕事に生活にと忙しい毎日の中で、これまで関わりすらなかった農業にどうして興味をもったのでしょうか。

「仕事で海外に行った時、スーパーの『オーガニック野菜』のコーナーが充実していることに驚きました。それで自分も農薬を使わない野菜をつくってみたくて学校に通い始めました。自分で野菜をつくりだすと、家庭でも食の話題が多くなりましたね。自然と野菜の匂もわかるようになったりして」と竹村さん。

中村さんの始まりもユニークです。「日課のジョギング中に畑仕事をするおじいさんに出会ったんです。ずっと気になっていて、思いきって声をかけたことがきっかけで畑を手伝い始めました。神戸っ子だった私には、畑のある風景は憧れでした。もう、キラキラ輝いていましたね」。今では地元のホームセンターの常連なのだとか。

耕作放棄地を開墾

農業学校を出た3人は、それぞれ自宅近くに畑を借り、自分の野菜づくりを始めてからしばらく経ったころ、竹村さんに知らず知らず連絡が入ります。耕作放棄地となっていた田んぼの草刈りの依頼でした。広さは3000㎡、バレーボールのコートなら18面にもなる土地に2mを超す丈の雑草がびっしり。

年末年始も返上で3人の作業



拙 久志さん



たばたふあーむ

みかづき
 拙 久志さん
 中村一貴さん
 竹村 弘さん



が始まりました。草を刈っては集めて処分し、土の中の根っこを掘り起こす重労働。ようやく元あつた土が顔を出したころ、3人の中に「ここを畑にして、野菜づくりを始めたい人や家族のための体験農園にしたい」という思いが生まれました。

知識も道具も、そして時間だつてなくても、週末ここに来れば畑仕事ができる。土に汗する醍醐味や収穫の喜びを、来てくれた人たちで分かち合える週末だけの農業。「週末体験農園ばたばたふあーむ」が産声をあげた瞬間です。

のんびりした自然の中で

胎動する「ばたばたふあーむ」。3人の夢は広がります。「農業学校で一番心に残ったのは、みんなで野菜をつくった実習でした。一緒につくる楽しさは格別です。一人で来ても仲間に会える楽しい場所。採れた野菜で収穫祭やバーベキューもやりたい。レジャーやエクササイズみたいな感覚で農業を楽しんでもらいたいですね」という拙さんは「ばたばたふあーむ」の名づけ親。

「いつか、ここでニワトリも飼いたいですね。ニワトリに野菜クズを食べてもらい、その糞を肥料にして畑の野菜を育てる

循環型の農業もしたいなど。羽ばたく様子と畑。畑で『パタパタ』です。子どもたちにも覚えてもらいやすいかな」

中村さんです。「コロナでライフスタイルを見直す人も多いと思います。のんびりした自然の中に身を置くと、農業に限らずなにか自分にピンとくるものが見えてくるんじゃないかな。ここで新しい一歩を踏み出すきっかけを見つけてもらえたら嬉しいですね」

夏のオープンに向け、ワクワクが止まらない3人かと思いきや、そうでもない様子。「これまでは3人でわいわいガヤガヤと楽しくやってきましたが、農園が始まればサービスの提供者です。会費も頂戴する以上、満足してもらえる内容になるよう相談を重ねています。

参加者に約50品目の中から野菜を選んでもらい、四季を通じて種まきから収穫まで野菜づくりのアドバイスを含めたプログラムを用意しています。農機具も準備しているので手ぶらで畑に来てください。初心者も大歓迎です」

「週末に畑のある生活」に期待が高まりますね。今年の夏は暑くなりそうです。



背丈を超える雑草に悪戦苦闘



ばたばたふあーむ

<https://pata-pata-farm.com>

竹村 弘さん

中村一貴さん

定年後のきのこ博士

ロクハ公園「きのこウォッチング」 土佐洋志さん(78歳・大路)



しいたけ、舞茸、えのき、松茸、エリンギ……そうだ、マッシュルーム！
あなたはきのこをいくつ知っていますか。栽培技術も進歩して、スーパーには一年中色々なきのこが並んでいます。
きのこという食べ物のイメージが強いかもしれませんが、実は自然にとっては、なくてはならない存在。そんな話を観察会で教えてくれるきのこ博士が草津にいます。
きのこに惹かれ、定年後から勉強を始めたきのこ博士の登場です。

山が教えてくれた変化

ロクハ公園には人気のプロログラムがあります。ロクハの自然を満喫しながら樹木や野鳥、きのこなどを専門家の解説を聞きながら観察するウォッチングシリーズ。

この観察会で、身近にありながら意外に知らないきのこの生態や不思議について教えてくれるのが、「草津のきのこ博士」土佐洋志さんです。さぞや、元は学者さんかと思いきや、化学メーカーの技術者だったとか。

仕事をしている頃、時間に追われる忙しい毎日の中での楽しみと言えば、山登り。

「学生のころからよく山登りをしてました。毎年のように冬の比良山にも登りました。定年前だからかれこれ20年くらい前からでしょうか、環境の変化を感じ出したのは、『なんか、おかしい』と思いました。積もっているはずの雪がない、桜の開花が早い、モミジの紅葉が遅い、鹿などの野生動物をよく見かけるって、こんな類の違和感です」

「当時はスマホなんかない時代ですから、歩いたルート・時間・天気や目にした植物の様子な

ど、こと細かくメモしているの、それを読み返すと自然の緩やかな変化もみえてきます」

あの木もこの木も…

山から自然の変化を感じとった土佐さん。退職後には大阪の「NPOシニア自然大学校」に入りました。ここで地球環境から鉱物・動物・植物昆虫といった様々な自然科学の分野まで、講座やフィールドワークで二年間かけて学び、卒業後もサークル活動として自然観察会や講座に参加するようになりました。
こうした学びの中で、きのこの魅力に惹きつけられたのだとか。

「きのこの魅力はすべての樹木と共生しているところ。あの木もこの木も、きのこのおかげで生きていけるんです。たとえそこに、きのこが見当たらなくてもね。きのこといえばスーパーで見かける形のを思い浮かべますが、実は菌糸自体はいつも土や枯れ木の中にたくさんいます。樹木と養分をやりとりしながら共生しているのもきのこ、枯れ木や落ちた葉を分解して土に還しているのも、きのこなんです」



なるほど、きのこはおいしく食べるだけじゃないんですね。叱られそうです…。

こうしてきのこに惹かれた土佐さんは、その後もきのこの学会や観察会に積極的に出向くようになってきました。

3人の自然博士

土佐さんは先のNPOの地方組織である「京とおのみ自然文化クラブ」にも参加しています。ここには土佐さんを含め、草津在住者が3人いました。きのこに魅せられた土佐さんに対し、一人は樹木、一人は野鳥を専門としていました。いつしか3人の自然博士は「いま住んでいるこの草津に恩返しができないかな」と話すようになったとか。

そんなころ、3人はロクハ公



◀写真：大條紘史
(編集ボランティア)

土佐洋志さん



土佐さんは続けます。「子どもから大人まで参加してくれるのが嬉しいですね。観察会で園内を歩くと、子どもは図鑑の写真と同じきのこを見つけると

「きのこウォッチングでは事前に園内を歩いてみてコースや説明するきのこの話を決めていますが、当日の朝の様子でコースを変更することもあります。なにせ生き物ですから刻々と変化していきます。朝早い時間に見てほしいきのこもあるからね」

園で目にした看板に驚かされました。ロクハの森での自然とのふれあいと呼びかけた看板に描かれていたのが、それぞれが魅せられた樹木、野鳥、そしてきのこ。こだったのです。そのまま事務所前のドアをノックしました。こうして、ロクハ公園の人気プログラム「ウォッチングシリーズ」が始まったのです。



目を輝かせます。子どもは大人が気づかないものまで見つけるので、こちらもちんと答えるようにしています。子どもたちにも必ず伝えるのは「きのこは樹

木と助け合いながら仲良く生きていくんだよ」ということですね」

観察会を始めてからの感想が印象的でした。「当然ですが観察会にはそのテーマに興味をもつ人が集まってくれます。共通の興味というベースがあるので、いつもワイワイと楽しいです。LINEを交換したり、仲間になった人たちもたくさんいると聞きます。私も教えるというより、仲間が広がるという感じです。自分の視野を広げたり、仲間をつくりたいと思ったら、観察会は良いチャンスかも知れません」

楽しく生きる、興味のあることで社会とつながるヒントが土佐さんの話から見えてきます。そうそう、土佐さんは自然の中に生えるきのこは食べませんが、栽培されたきのこを食べるのは大好きなんだとか。念のため。

イメージ▼



ロクハ 夏の催し



長寿の郷ロクハ荘

● 蓄音機ふれあいコンサート

7月13日(火) 13:00~14:00
8月10日(火) 13:00~14:00

● 夏休みキッズ工作教室

羊毛を使って可愛い小物づくりをしよう
7月29日(木) 10:00~12:00
料金 500円 定員 5組(先着順)
申込 7月3日(土)~

ロクハ公園

● ロクハナイトツアー

夜の公園を歩いてみよう
7月17日(土) 19:00~20:30

● 昆虫ウォッチング

8月1日(日) 10:00~12:00

● 魚つかみ大会

8月8日(日) 10:00~12:00

● ロクハツアー

季節の変化を見つけよう
8月29日(日) 10:00~12:00

● きのこウォッチング

10月3日(日) 10:00~12:00

すべて定員 各20人

● 申込・問合せ ● 長寿の郷ロクハ荘 ☎ 563-5021 / ロクハ公園 ☎ 564-3838

助成 & 活動賞

8月上旬
募集開始



まちづくり活動助成

- “はじめの” いっぱい 1年目5万円 2年目10万円
 - “そのさき” いっぱい 1年間20万円
- 2部門それぞれ上限3団体の採択

イキイキ活動賞

- いいね! 地元の力
 - なるほど! 市民活動
- 2部門合わせて上限3団体 賞状・副賞5万円

● 問合せ ● (公財)草津市コミュニティ事業団
まちづくり振興グループ ☎ 565-0477

キラリエ
草津5Fに

まちづくりオープンスペース!
協働ひろば

「キラリエ草津」の5Fに、まちづくりに取り組む皆さんが利用できるオープンスペース「協働ひろば」ができました。

- ちょっとしたミーティングや打合せに
- チラシの設置など、活動情報を発信したり集めたり。
- 会議や催しの準備に便利な作業コーナー
- まちづくりに関する図書や雑誌
- まちづくり相談も気軽にどうぞ

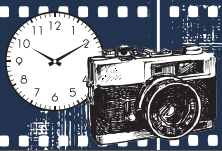
ココはみんなで創り育むスペース。1dayカフェ、ぶちセミナー、ちょこっと体験会など、みなさんのチャレンジも応援していく予定です。

ご利用の提案や相談をお待ちしています。



● 問合せ ● 草津市コミュニティ事業団 ☎ 562-9240
草津市(まちづくり協働課) ☎ 561-2337

まち語り
一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から、これから、のコミュニティを見つめます。

県下初の橋上駅として
生まれ変わった草津駅



現在では、一日の平均乗降者数が約6万人を誇り、南草津駅に次いで県下第2位となっているJR草津駅ですが、実は滋賀県初の橋上型の駅でもあります。

昭和42年(1967)、老朽化していた旧駅舎に代わって、県下初の橋上型の駅となった新駅舎の供用が始まります。この写真は、当時の草津駅の様子を上空から写したものです。この新駅舎の完成にとともに、東口の駅前広場も大幅に拡張され、バスや車の乗り入れがよりスムーズとなり、駅の利便性も向上しました。新駅舎ができる以前から駅前広場には、うばがもちや、バス会社、運送会社などが並んでいましたが、この新駅舎の完成とともに、草津駅前はより賑やかになっていきます。

一方、昭和42年当時、草津駅西口はまだ開設されておらず、駅の西側(写真奥)は雑草が生い茂っていました。西口が開設されるのは、この翌年である昭和43年(1968)のことです。この頃の草津駅は、乗降者数の一日平均が4万人程度でしたが、そのうち約1万6千人が東海道本線の西側にある琵琶湖側に住む人々でした。これらの人々が駅を利用するには、渋川か下笠道の踏切を渡る必要があり、西口開設には以前から強い要望がありました。

橋上駅となった草津駅に東西両口が設けられたことで、駅のコンコースが自由通路として東西の市街地を繋ぐ役目を果たすようになり、その後、草津駅前はより一層発展していくことになります。

文・草津宿街道交流館

読売新聞

今こそ新聞を読む

読売センター草津西 / 有限会社 雄
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205
ホームページは、読売センター草津西で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!

スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

熊谷栄三郎の
徒然草津
つれづれくさつ

第40回
木で鼻くくる

熊谷栄三郎



世の中、どうなったのだろう。テレビや新聞を見ても、町へ出て、人の顔にはマスク、マスク。マスクを着けていない人を探すのは難しい。外国のテレビだってそうだ。

コロナ禍で、マスク着用が強く叫ばれるようになった二年余前だったか、コンビニなどでマスクを求めようとしても売り切れていることが多かった。今ではたっぷりある。新製品なども出ている。いや、自分のカバンの中にも予備のマスクが二つ三つ。

歴史を振り返ると、石器時代、縄文時代などというのがあった。今の世の中をマスク時代と呼ぶようになるかもなあ、と思う。

さて。毎日のようにテレビで、とある政治家がマスク姿で話しているのを見ていて、急に思い出した言葉がある。「木で鼻くくる」ということわざ。

それがどんな意味のことわざだったか正確には覚えてい

なかつたので、念のため手元の辞書を繰ってみた。「木で鼻をくくったように、人を不愛想にもてなすこと」などとあった。

「鼻くくる」ともいうらしい。が、木で鼻をくくる、とは正しくはどんな動作なのか、いま

半分からない。テレビでみるその政治家は、このところ、いつも白い大きいマスクをして、実際にきばきと応答されている。

その応答の仕方が、私がうる覚えしている「木で鼻くくる」ということわざを思い出させるらしい。

ここで、ぜひもう一つ言っておきたいことがある。その政治家のマスク顔を見ているうち、私は着想を得たのだ。「マスクで鼻をくくる」という新しいことわざ。

「マスクで鼻をくくる」。ええなあ、流行せんかなあ。そう願いつつ、マスクを着けてみた。マスクが自分の鼻でピクピクするのが分かった。

もじうめスツキリ

夏といえば？ □に入る7文字を答えね。

問

(1) イチゴ・レモン・あずき

かきご□り

(2) 青空にモクモク

に□うどう□も

(3) 観察する？

□ぶとむし

(4) アウトドアといえば

□ーべ□ゆー

(5) 今、人気のアクティビティ

とれ□きんぐ



応募方法

ハガキに①答えの7文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。

FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

※切 **7月16日(金)** 必着

宛先 〒525-0032

草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)

(公財)草津市コミュニティ事業団

「コミュニティくさつ7月号」係

☑ com-com@mx.biwa.ne.jp

☎ 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選で、5月にオープンした「キラリエ草津」1Fの「MERCİ CAKE」(大路2丁目)で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。



◀人気のバスクチーズケーキ

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！

くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津

くらし何でも相談

TEL:077-564-5512

住所：草津市大路1丁目1-1 エルティ932 4F 4 0 6

電話がかかりにくい場合はこちらへセンターへの相談は無料です

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内
0120-783-455 (くらし何でも相談専用)



株式会社 **三井田商事**

経営理念 **迅速・確実・親切**

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は57周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16

TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

ご近所まんが

くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。

どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる

今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。

楽しくも少し考えてしまう。

もしかして…これって、みんなの問題かも。



何も知らないんだね



さく・com-com / え・まんじゅう

草津クリアホール

月刊アートセンター 市民と創るコンサート2021

えふえむ草津 公開ラジオコンサート Vol.1

7/18

ライブハウス CREA JAZZ



7月18日(日) 14:00開演

会場 草津クリアホール

出演 サウンド・フリーク

高橋知己、竹内直

板橋文夫、島山令

石田博嗣

入場料 1,000円

(当日1,500円)

プログラム

《1部》

ビッグバンドJAZZの楽しみ

《2部》

ジャズの偉人 ジョン・コルトレーン

Rememberコンサート



問合せ

草津アートセンター(草津クリアホール内) ☎561-6100

ポイント

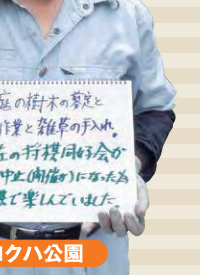
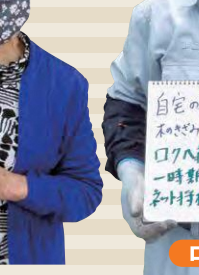
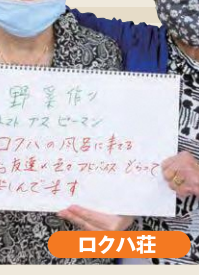
施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

私の“おうち時間”

キラリエ草津

クリアホール

アマカホール



ロクハ荘

ロクハ公園

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

